

日没前後の交通事故死 9月以降に大幅増加

重トレーラーに積んでいた高所作業車のアームが接触 電柱3本がなぎ倒し…停電も

(2016/09/16 18:40)

電柱3本がなぎ倒され、事故の影響で停電も起きています。愛知県で、大型トレーラーで運んでいた高所作業車と電柱が接触する事故がありました。警察によりますと、作業車のアームが当たって電柱1本が折れ、電線で引っ張られた前後の2本も含め、合わせて電柱3本が傾いたということです。事故の影響で停電が発生し、現在も復旧作業が続いているということです。

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命 他人の命

- 積み下ろし作業中の、荷台からの墜落・転落に注意しましょう
- 鋼材、資材の積み下ろし作業中の、手・指・足のはさまれ事故に注意しましょう
- ハウス、トイレの積み下ろし作業時の、脚立・屋根からの転落に注意しましょう
- 敷き鉄板の積み下ろし作業時、ユニック作業に注意しましょう

交差点進入時は…

- 交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- 相手は「避けられない」、「止まらない」…かもしれない

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

土・日・祭日は、部活の小・中・高校生の自転車に注意しましょう！

頭を骨折、労災事故で、会社と社長を書類送検 ヘルメットを着用させていなかった疑い

2016年09月16日 20時16分

労働基準監督署は16日、労働安全衛生法違反の疑いで、太陽光パネル販売・設置業の会社と代表取締役の男性(44)を地検に書類送検した。送検容疑は6月2日午後5時ごろ、会社が施工、管理していた工事現場で、片付けをしていた男性作業員(31)が頭の骨を折るなどのけがをした事故で、ヘルメットを着用させていなかった疑い。労基署によると、会社は業務に関する特別教育も実施していなかった。

熊本地震関連の労災98件 転落事故が最多

2016年09月16日

熊本地震に関連した労働災害事故が16日現在、県内で98件に上ることが熊本労働局のまとめで分かった。原因別では、屋根や足場からの転落事故が最多。今月6日には初の死亡事故が災害ごみ仮置き場で起こっており、労働局は安全対策の徹底を呼び掛けている。98件は休業4日以上を要する労災事故。このうち分類済みの80件をみると、地震発生時の事故が33件、復旧工事中の事故が47件だった。地震発生時は(1)高温の油などとの接触11件(2)転倒10件(3)機械・備品との衝突3件一など。復旧工事中は(1)高所からの転落23件(2)落下物との衝突6件(3)機械装置の巻き込み、作業車両との衝突各4件一など。

発生した死亡事故は復旧工事中。災害ごみ仮置き場で車両を誘導していた男性作業員(59)に、重機で分別中にはねた角材が直撃。3日後に急性硬膜下血腫で亡くなった。

午後6時 小学校1年生の6歳男児、横断中に車にはねられ重体 横断歩道のない場所

◇夜間…ヘッドライトは遠目が基本、早期発見！ 事故防止◇

2016年9月15日22時45分

15日午後6時35分ごろ、宮崎県の県道で、近くの小学1年生の男児(6)が、近くの無職の男性(77)の軽乗用車にはねられた。男児は頭などを打ち意識不明の重体。警察によると、男児は道路を横断していたという。現場は片側1車線の緩やかなカーブで、横断歩道はなかった。

午後6時 車にはねられ、横断中の91歳男性死亡 鷹栖町 「発見したが(ブレーキが)間に合わなかった」

◇夜間…ヘッドライトは遠目が基本、早期発見！ 事故防止◇

2016.9.16 10:02

15日午後6時20分ごろ、鷹栖町の道道を徒歩で横断していた近くに住む男性(91)が、会社員の男性(59)が運転する乗用車にはねられた。男性は約6時間後に病院で死亡した。旭川中央署によると、現場は片側1車線の直線で、街灯はなかった。乗用車の男性は「発見したが(ブレーキが)間に合わなかった」と話している。

午後4時 自転車の男性(90) 車にはねられ死亡 信号や横断歩道はなかった

2016/9/13 11:36

12日午後4時過ぎ、長崎県の市道を自転車で横断していた無職の男性(90)が右から直進してきた乗用車にはねられた。男性は病院に運ばれた当時は会話ができていたが、容体が急変し、13日午前4時半頃死亡した。現場は片側2車線の直線道路で信号や横断歩道はなかった。男性は自宅に帰る途中だったという。